

第1 基本方針

天草地域の農業は、海岸島しょの温暖な海洋性気候を活かして、果樹、畜産、水稻、野菜、花きを組み合わせた複合経営が営まれている。

果樹では、不知火類（デコポン）、「河内晩柑」、ポンカン等を主体とした中晩柑類が特産品として定着しているが、近年「不知火」のこはん症発生が問題となっており、その要因解明と発生軽減技術の開発が早急に求められている。また、温暖化の進展に伴い亜熱帯果樹の導入環境が整いつつあり、天草地域に適する新品目が求められている。

野菜では、露地でレタス、施設ではミニトマト、キュウリ、スナップエンドウ、イチゴ等が栽培されており、早期水稻の後作として、インゲン、カボチャ等も栽培されている。

しかし、構造的に経営規模が小さく、過疎化や農業従事者の高齢化、加えて干ばつや台風などの気象災害等の不安定要因により、一戸あたりの生産農業所得は低い状況にある。

こうした中、熊本県食料・農業・農村計画の基本理念並びに天草農業の現状を踏まえ、農業農村の持続的な発展を図るため、天草地域の温暖な気象条件を最大限に活かし、高品質・低コストの売れる農産物づくりを目指し、適応作物や品種の選定、生産安定、品質向上技術の確立に向けた試験研究に取り組む。

第2 重要研究事項

1 作物・野菜部門

(1) 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発

ミニトマトについては、天草地域の基幹品目として従来から栽培されているが、収量性や品質等が不安定であり、十分な収益が確保できているとは言えない。そこで、収量や品質が向上するよう、群落内光の効率的利用を目指し、光合成量が増加するような整枝や下葉の管理等栽培技術の確立を行い、冬期のハウス内への炭酸ガス使用方法を確立する。

秋作スイートコーンは、温暖な気候を利用して取り組みやすいが、ポリarium、品質、病虫害対策が必要とされるため、高収益へ向けた栽培技術を確立する。春作は、一部で栽培しているものの、出荷時期が遅く、価格は安い。このため、温暖な気候を利用して、できるだけ品質が良く、省力的に生産可能な早期出荷栽培技術を構築する。

2 果樹部門

(1) 多彩なくまもと農業の魅力を発信できる新品種の開発・選定

亜熱帯果樹として有望なライチについて、連年安定生産を目指し、隔年結果是正および着果安定の技術を確立する。また、ビワでは、寒害に強い高品質な品種適応性の検討を行う。

(2) 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発

ヒリュウ台利用「河内晩柑」について、連年安定生産のための着果管理技術を確立する。

露地栽培不知火類については、高品質で連年安定生産が可能な着果管理技術や完熟栽培技術、また、こはん症発生要因を解明し発生軽減技術を確立する。「河内晩柑」では、夏期出荷のための長期貯蔵技術を確立する。

第3 試験研究課題一覧

【天草農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
野菜作	1. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	新規 (1) 天草地域における所得の向上を目指した野菜栽培技術の確立	531	県単	① 収益性が高い春・秋スイートコーン栽培技術の確立	H27～H29
		新規 (2) トマト類における群落内光の効率的利用を目指した基礎的要因の解析(再掲)	580	県単	① 群落における日射量と光合成能力の解明 ② 栽培条件の差異が光合成能力に及ぼす影響の解明 [野菜研究室] [天草農業研究所]	H27～H29
果樹作	1. 多彩なくまもと農業の魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) ライチ(レイシ)の優良品種の選定および連年安定生産技術の開発	1,243	県単	① ライチの優良品種の選定 ② ライチの着花・着果安定技術の確立	H25～H27 H25～H27
		(2) 天草特産果樹の品種選定と栽培技術の確立	370	県単	① 国・県育成系統の適応性検定 ② カンキツ・ビワの生育状況・収量予測	H8～継続 H26～継続
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	延長 (1) 天草を元気にする特産果樹の生産安定技術の確立	926	県単	① ヒリュウ台利用中晩柑の安定生産技術の確立 ② 露地栽培不知火系統の高品質生産技術の確立 ③ 「河内晩柑」の夏期出荷のための生産・貯蔵技術の確立	H27～H28 H27～H28 H27～H28
		(2) 不知火類(デコボン)における高品質果実の長期安定出荷体制の確立(再掲)	797 総額	県単	① ヒリュウ台「肥の豊」の栽培技術の確立 [果樹研究所常緑果樹研究室] ② 露地栽培における完熟果実安定生産技術の確立 [天草農業研究所]	H25～H27 H25～H27
		新規 (3) 不知火類のこはん症発生軽減と高品質化による安定生産・出荷技術の確立(再掲)	1,527 総額	県単	① こはん症発生要因の解明 [果樹研究所常緑果樹研究室・天草農業研究所] ② こはん症発生軽減技術の確立 [果樹研究所常緑果樹研究室・天草農業研究所] ③ 施設栽培における高品質化技術の確立 [果樹研究所常緑果樹研究室]	H27～H28 H27～H29 H27～H29

注) **新規**: 本年度から新たに取り組む課題

組替: 課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長: 課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮: 課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題